

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第 101 回）に係る面談

2. 日時：令和 4 年 7 月 12 日（火）14:00～16:10

3. 場所：原子力規制庁 18 階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、澁谷企画調査官、正岡管理官補佐、大辻室長補佐、松田室長補佐、  
横山係長、塩唐松審査係、高橋係員、高木技術参与  
小西係長（テレビ会議システムによる出席）

専門検査部門

山元首席原子力専門検査官、

川下企画調査官（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力規制事務所（テレビ会議システムによる出席）

小林所長

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 4 名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所 12 名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

● 原子力規制庁は、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、次回（第 101 回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の議題に関し、資料に基づき以下の説明を受けた。

➤ 3 月 16 日の福島県沖地震の影響

✓ 3 月 16 日の地震発生後の 4 号機原子炉建屋カバー主要部材の影響確認について

✓ 3 月 16 日地震発生後の福島第一原子力発電所の状況について

✓ 一時保管エリア AA のコンテナ配置の見直しについて

➤ 中期的リスクの低減目標マップの進捗状況

➤ 福島第一原子力発電所増設雑固体廃棄物焼却設備の運転状況

➤ 1/2 号機 SGTS 配管周辺工事のリスク低減のための工程組み替え

● 原子力規制庁は上記の内容を確認するとともに、以下のとおりにコメントを行った。

【3 月 16 日の福島県沖地震の影響について】

✓ 3 月 16 日の地震の剥ぎ取り波を踏まえ、剛構造（固有振動数が 20Hz 以上）の設備の耐震性への影響程度を確認すること。

- ✓ 4号機原子炉建屋カバーの影響確認については、当該カバーの目的・機能を明記した上で、復旧及び評価の位置づけが分かるように記載を充実させて説明すること。

#### 【中期的リスクの低減目標マップの進捗状況について】

- ✓ 進捗状況に関して、検討会の場で十分に説明できるように準備しておくこと。
- ✓ 中期的リスクの低減目標マップ（2022年3月版）を踏まえた検討指示事項に対する工程表について、現状の取り組み状況を詳細に記述すること。

#### 【増設雑固体廃棄物焼却設備の運転状況について】

- ✓ 二次燃焼機とストーカ取合の塞ぎプレート他の亀裂確認に関して、亀裂が確認される前と後で比較できるよう詳細な図を示すこと。
- ✓ 確認された亀裂の修理に関して、今後のスケジュールを示すこと。

#### 【1/2号機SGTS配管撤去の状況について】

- ✓ 現状の作業環境下において、雨水対策ができていないことに関する影響について説明すること。

#### 【ALPS処理水の海洋放出に係る実施計画変更認可申請の審査状況】

- ✓ ALPS処理水の海洋放出に係る実施計画変更認可申請の審査状況については、原子力規制庁より説明する。
- ✓ ALPS処理水の分析について、東京電力のみならず政府の第三者分析機関も含めた国全体の分析体制の全体像については、原子力規制庁より説明する。

#### 【今後の施設定期検査の実施方法に係る検討】

- ✓ 原子力規制庁から今回の検討に至る経緯並びに施設定期検査の現状及び今後の検討の方向性等について説明する。

- 東京電力から、コメントについて検討の上、検討会に向けて対応が必要なものについては、適切に対応する旨回答があった。

## 6. 資料

- 放出前のALPS処理水の分析体制（案）
- 東京電力福島第一原子力発電所の施設定期検査に関する検討について（案）
- 3月16日地震発生後の福島第一原子力発電所の状況について（案）
- 3月16日地震発生後の4号機原子炉建屋カバー主要部材の健全性について（案）
- 一時保管エリアAAのコンテナ配置の見直しについて（案）
- 『東京電力福島第一原子力発電所の中期的リスクの低減目標マップ(2022年3月版)』の進捗状況について（案）
- 福島第一原子力発電所 増設雑固体廃棄物焼却設備の運転状況（案）
- 長期保守管理計画と施設定期検査（社内）について（案）

- 福島第一原子力発電所 中期的リスクの低減目標マップ（2022年3月版）を踏まえた検討指示事項に対する工程表（案）